第 2018-49 号

恵みと真理のニュース

2018 年 12 月の二次　恵みと真理教会
韓国 京畿道 安養市 萬安区 安養路 193 / ☎82-31-443-3731 / www.gntc.net

［証］

イスラエルよ、あなたはいかに幸いなことか。あなたのように主に救われた民があろうか。主はあなたを助ける盾、剣が襲うときのあなたの力。敵はあなたに屈し、あなたは彼らの背を踏みつける。

わたしが教会に行く前１９８６年に夫の事業の失敗でわたしの家庭は経済的に大変でした。長男が中学校２年生、二番目の息子が小学校５年生のときでした。健康が良くなかった私はそのことで大きい衝撃を受けて倒れました。難関を克服する道がなくて寝れない日が続く中で、隣の家で賛美歌が聞こえました。賛美歌の歌詞と曲調が良くてわたしの心を響きました。その間、教会に通う方々が伝道するのが邪魔だと思い福音には関心を持ったなかったわたしが、その瞬間、わたしも知らずにその場で立ち上がってその賛美歌が聞こえる家に向かいました。
いろんな人々が集まって神様に礼拝を捧げていました。恵と真理教会に通う若い母親の家でした。その若い母親が体が弱くて不眠症にわずらっていて区域長と区域の聖徒が集まって祈っているところでした。“わたしも一緒に歌いたいですが、参加できますか？”その場に集まっている方たちが嬉しく迎えてくれました。区域長が申命記３２章３０節の“もし、岩なる神が彼らを売らず／主が渡されなかったなら／どうして一人で千人を追い／二人で万人を破りえたであろうか。”という御言葉を読みました。
このことがきっかけになって、区域長の伝道と助けで恵と真理教会の水曜日の礼拝に参席しました。その時、わたしの体が良くなくて１０分の距離を４０分が以上も掛かって到着しました。礼拝がすでに始まって、空いた席がなかったので柱の後ろに立って礼拝を捧げました。説教と決信の時間に続いて当会長の牧師の神癒と祝福の祈りをしてくださいました。講壇が遠くて牧師の顔を詳しく見ることが出来ませんでした。ところが奇異に牧師がわたしが痛い所を逐一詳しく指摘しながら祈ってくださったのです。私は人が多いので、わたしと同じところが痛い人がいるのだと思いました。ところが、その日、夢で牧師がわたしの頭に按手お祈りをする夢を見ました。数日後、区域長にその日の夢を話しました。そうしたら、区域長が“感謝ですね。祈りに答えられました。神様がすく健康にしてくださいます。”そうしました。そうしたら私が以前のように床についておらず、人々と話していました。真に驚くて感謝しました。
わたしの魂を救ってくださり、わたしの体を健康にしてくださった神様の恵みに感謝して熱心に教会に通い心を尽くして礼拝を捧げました。御言葉と聖霊の働きで救いの意味を知り、恵と真理で充満になり礼拝の喜びを享受するようになりました。“ イスラエルよ、あなたはいかに幸いなことか。あなたのように主に救われた民があろうか。主はあなたを助ける盾／剣が襲うときのあなたの力。敵はあなたに屈し／あなたは彼らの背を踏みつける”（申命記３３：２９）ハレルヤ！
“見よ、その日が来ればと／主なる神は言われる。わたしは大地に飢えを送る。それはパンに飢えることでもなく／水に渇くことでもなく／主の言葉を聞くことのできぬ飢えと渇きだ。（アモス章８：１１）生活がいくら大変で苦難があっても教会に来て礼拝を捧げて神様の御言葉を聴くと心が平安になりすべての悩みと心配がなくなったりしました。そうしながら苦しい状況なのでわたしの体しかささげることが出来ないので神様に申し訳ないでした。ちょうどその時、当会長の牧師が公告時間に聖歌隊員の募集の広告をしました。わたしに勧めている話のように聞こえてきましたが、“わたしのような足りない人ができるかな。”と迷いました。ところがおかしくてわたしの夢で聖歌隊の賛美する姿が現れました。
わたしは聖歌局の事務室を探しに行って聖歌大学を卒業した人だけが聖歌隊で奉仕できますか。と尋ねました。ちょうどその場でおられた聖歌隊長がわたしの質問に親切に答えてくださって聖歌隊の入隊の願書と聖歌大学の入学の願書を書いてくれました。夢見たその聖歌隊、主日５部の礼拝で賛美を捧げるエリム聖歌隊の隊長でした。そうして、私は今までエリム聖歌隊員として奉仕しています。さまざまな苦難を克服することが出来て、信仰生活に充実にすることが出来ました。何よりもまず、神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはみな加えて与えられる。イエスキリストを信じて熱心に礼拝を捧げて奉仕する生活をすると神様はわたしと家族に豊かな福と恵みを与えてくださいました。私に区域長の職分を下さって続いて勧士の職分まで下さってすべての家族が全能と真実で神様を恐れて委ねて生きるようにしてくださいました。特に長男は神様から呼ばれて牧師になって教会と聖徒を仕えています。
この地での人生が短くても短いのを知るようにしてくださり、天国に希望を持って主の恵を賛美しながら生きるようにしてくださった神様の愛に感謝を捧げます。 聖歌隊で練習をする時、礼拝で賛美する時、全身全力して主の前で心を尽くして賛美を捧げるのを願います。信仰に信仰を、愛に愛を、謙遜に謙遜を神様がもっと与えてくださり、すべての事で信仰で行うようにして生徒達に信仰生活の手本になるように能力があって福音を伝えるのを願います。“わたしは確信しています。死も、命も、天使も、支配するものも、現在のものも、未来のものも、力あるものも、高い所にいるものも、低い所にいるものも、他のどんな被造物も、わたしたちの主キリスト・イエスによって示された神の愛から、わたしたちを引き離すことはできないのです。（ローマ８：３８，３９）

［信仰コラム］　神様の武具で身を固めなさい

＂最後に言う。主にあって，その偉大な力によって，強くなりなさい悪魔の策略に對抗して立ちうるために，神の武具で身を固めなさい...＂（エペソ人への手紙 6:10-18）

キリスト人は戦闘する人です。その戦闘はサタンを対敵する霊的な戦いです。従って、私達はサタンの正体と活動に対して知るべきです。これに対する情報は聖書に啓示されています。サタンは様々な計策で人々が誠な神様を知らないようにします。人々が空しい思想と宗教を作るようにしてこれに従うように惑っています。人々がイエスキリストによる救いの福音を聞くことができず、信じないようにするため妨げて、異端で福音を混雑にします。教会をなくしてキリスト人を滅絶することをする国家体制を作るように作用します。
人間の知恵と力だけではサタンの詭計に勝つことができません。どうしたら私達がサタンの詭計を良く対敵することができましょうか？その回答が本文にあります。＂最後に言う。主にあって，その偉大な力によって，强くなりなさい惡魔の策略に對抗して立ちうるために，神の武具で身を固めなさい。＂としました。そして神様の武具で身を固めるのが何であるかを記録しました。悪いサタンがいかにほえたけるししのように荒れて、様々な詭譎（きけつ）で攻撃しても神様の武具で身を固めると勝つことができます。
第一は、真理の帯を腰に締めるべきだとしました。帯は体を縛ったようであるが、実際には体を自由に、力強く活動させます。聖書に記録された神様の御言葉が真理です。イエスキリストが私達生活の中心におられるようにすべきです。
第二は、正義の胸当てをすべきだとしました。胸当てはよろいの胸の方につける銅のかけらで胸を保護する役割をします。胸は良心を意味します。サタンは聖徒の良心を讒訴の小刀で攻撃します。罪責感、定罪意識、救いに対する不安で傷つけます。サタンの讒訴を受けないためには誰でもイエスキリストによる神様の正義の胸当てを着用すべきです。
第三、平和の福音の備えを足に履くべきだとしました。ローマが世界を支配していた当時、ローマ兵士の靴が卓越で平安に行軍して戦闘することができました。イエスキリストの福音は平和の福音です。茨の地、険しい道が多い人生を生きながらひょっとすれば心霊が傷付きやすいです。サタンはこの時に攻撃をします。従って、聖徒は必ず平和の福音の備えを履いて行進すべきです。
第四は、信仰の盾を持つべきです。盾は敵の矢を防ぐ役割をします。サタンの火の矢には疑いを火つける矢があります。疑いの火の矢を防ぐことができないと全て炎に包まれます。サタンはイエス様にもこのような方法で接近しました。イエス様は聖書に記録された神様の御言葉をその通りに信じる信仰の盾でサタンの火の矢を消滅させました。
第五は、救いのかぶとと被るべきです。かぶとは頭を保護する役割をします。救いのかぶとだとしました。私達の頭を救いの考えで満たすべきです。イエスキリストの救いによる健康と生命と富みと勝利ととこしえの命と復活と天国に関する考えで満たしてください。
第六は、聖霊の剣を持つべきです。剣は攻撃の武器です。神様の御言葉は聖霊の剣です。ヘブライ書 4 章 12 節に＂というのは，神の言は生きていて，力があり，もろ刃のつるぎよりも鋭くて，精神と靈魂と，關節と骨々とを切り離すまでに刺しとおして，心の思いと志とを見分けることができる。＂と記録されています。
イエス様はサタンの試しを受ける時、聖書に記録された御言葉の剣でサタンの心臓を刺しました。神様の御言葉の剣は鈍くなったり錆び付きません。以上の六つの武具で身を固め、お祈ることを加えるべきです。個人のお祈り、合心のお祈り、黙想のお祈り、通声のお祈り、断食のお祈り、集中のお祈り、心を決めてするお祈り、生活化されたお祈りをすべきです。懇切にお祈りすべきです。聖霊の助けに頼ってお祈りしてください。自分だけのためにお祈りするのではなく、多くの聖徒のためにお祈りすべきだとしました。皆さんは、神様の武具で身を固めて、全てのお祈りでサタンの詭計を良く払って毎日勝利するよう祝福します。

「チョヨンモク牧師先生の信仰コラム‘緑の牧場、清い川’本の語り中」

区別されて神霊な感謝

恵みと真理教会 **チョヨンモク** 牧師

漢字で感謝とは感じる感、 ありがたいの意を表すの謝となっています。心に感じる感謝の気持ちを表現する意味です。感謝を上手にするのは天性的な場合もあるが、大抵学びと訓練することにもできます。感謝する態度は、その人の知性と教養を示します。クリスチャンになると、一般的に誰も感謝に加えて区別されて神霊な感謝を行います。その感謝では、彼の信仰の状態を示します。クリスチャンの区別されて神霊な感謝を一つ一つ皆を言うには、多くの時間が必要です。その中で、基本的なものいくつかのポインタだけ説明します

第一に、クリスチャンは神霊な信仰をくださった神様に感謝します。

信仰とは、**「必ずそう思うので、疑わない心」**です。人はこの世を生きながら観察と経験と学びで得た知識に信仰を適用します。信仰のために私たちの生活の向上発展して幸せを享受できるようになります。一方、信じることを信じていないか、信じてはならないことを信じるとき苦痛を招いて不幸になります。人が持つようになる信仰のうち、イエス・キリストへの信仰よりも貴重で幸い信仰はありません
聖書は、イエス・キリストについて記録した本です。将来に来られるイエス・キリスト、予言されたとおりこの世の中に来られてあがない働きを達成したイエス・キリストは、復活して天に昇り今は聖霊で私たちに来て働かれるイエス・キリストは、天にあげられたようにまた再び来て世界を裁くイエス・キリストについて記録されています。誰でもイエス・キリストを信じればあがないされます。**「すなわち， すべての 人は 罪を 犯したため， 神の 榮光を 受けられなくなっており， 彼らは， 値なしに， 神の 惠みにより， キリストイエス によるあがないによって 義とされるのである」（ロ―マ人への手紙 3：23,24）**しました
「わたしたちは， 御子にあって， 神の 豊かな 惠みのゆえに，その 血によるあがない，すなわち， 罪過のゆるしを 受けたのである」（エペソ人への手紙 1：7）しました。あがないされたということは、罪の赦しを受け義とされたことを意味します。私たちがイエス・キリストを信じてあがないされたことを考えると、感謝の賛美が自然に出ます。誰でもイエス・キリストを信じれば永遠の命を得られます。**「罪の 支拂う 報酬は 死である．しかし 神の 賜物は， わたしたちの 主 キリストイエス における 永遠のいのちである」（ロ―マ人への手紙 6:23）**としました。イエス・キリストを信じると神の子供になります。**「しかし， 彼を 受けいれた 者， すなわち， その 名を 信じた 人々には， 彼は 神の 子となる 力を 与えたのである． それらの 人は， 血すじによらず， 肉の 欲によらず， また， 人の 欲にもよらず， ただ 神によって 生れたのである．」（ヨハネによる福音書 1：12,13）**しました。

イエス・キリストへの信仰は、すべての人が必ず持つべき信仰です。**「このように， あなたがたは 主 キリスト・イエス を 受けいれたのだから， 彼にあって 歩きなさい また， 彼に 根ざし， 彼にあって 建てられ， そして 教えられたように， 信仰が 確立されて， あふれるばかり 感謝しなさい」（コロサイ人への手紙 2：6,7）**しました。神霊な信仰をくださった神様に感謝することは区別された感謝です。このような区別された感謝は、クリスチャンだけがする感謝です

第二に、クリスチャンは窮極的な希望をくださった神様に感謝します。

明日への期待と希望は、私たちの生活を活発にしてくれます。絶望に苦しむ人が望みの理由を持つのは、非常な力を得られます。バルテマイは、視覚障害者でエリコの路上で物乞いして延命しました。彼はイエスの話を聞いて、イエスはメシアが間違いないと信じるようになりました。そして希望を持つようになりました。そんなのある日バルテマイの生涯に忘れられない日が近づいてきました。バルテマイは、イエスが自分の町に通り過ぎくださるのを知りました。彼は気を尖らせて待っていました
イエス様が来られたとざわめく音を聞くとバルテマイが叫びました。「ダビデの子イエスよ、わたしをあわれんでください。」の周りに立った人々が彼を責め阻止しました。バルテマイはさらに大きく叫びました。 「ダビデの子よ、わたしをあわれんでください。」としました。イエスは歩を止めました。そして弟子たちに「彼を呼びなさい」と指示しました。人々がバルテマイに「安心して起き、イエス様があなたを呼ばれます。 「バルテマイが上着を脱ぎ捨てて、飛び立ち起きイエスに進みました。イエスは彼に質問するのを「あなたに何をしてもらいたいのか」と、彼はすぐに答えました。「主よ、見るのをしたいです」イエスは彼に向かって宣言しました。 「行け、あなたの信仰がいやしになりました」そのすぐ彼は見ました。絶望に処したバルテマイは望みの理由を持たせながら非常な勇気を持って非常な行動をしました。その結果、彼の望みのどおりに見るようになりました。
私たちは何を期待するともすべてが達成なるではありません。衝撃を吸収する能力がなければ心を注ぎ何を望みというのは好ましくないと考えているのも無理ではありません。クリスチャンは、この点において、恐れることはありません。私たちが仕える神は無限の知恵と善い手に彼の子供たちを助けるからです。神様の子どもは、自分が期待して希望することが行われなくても、より次元の高い希望が裏付けをしているので、挫折しません。これに対して**「神は， 神を 愛する 者たち， すなわち， ご 計畫に 從って 召された 者たちと 共に して， 万事を 益となるようにして 下さることを， わたしたちは 知っている」（ロ―マ人への手紙 8:28）**としました。したがって、クリスチャンはすべての点で大きく多くの期待と希望を持つことを躊躇する理由はありません。
それだけでなく、私たちが常に望みの中で生きていくのができる窮極的の理由は、天国の望みと復活の希望からです。天国は死亡がなく、悲しむことや哀哭することや病気がないところです。凶悪な者がなく、悪魔もないところです。天国の豊かさと美しさは、どんなの言葉でもまことに説明することはできません。聖徒たちは復活の体、変化した体を持って、その栄光の場所で永遠に生きることです。

「しかし， わたしたちの 國籍は 天にある． そこから， 救主， 主 イエス・キリスト のこられるのを， わたしたちは 待ち 望んでいる． 彼は， 万物をご自身に 從わせうる 力の はたらきによって， わたしたちの 卑しいからだを， ご自身の 榮光のからだと 同じかたちに 変えて 下さるであろう」（ピリピ人への手紙 3：20,21）しました。不思議で美しい体に天国で主と永遠に一緒に住むという言葉はそのまま成就される予定です。クリスチャンは、これらの望みをくださった神様に感謝します。これらの感謝は、キリストの外での感謝とは区別された感謝であり、神霊な感謝です

第三に、クリスチャンは神を仕え 、愛して生きるのを神に感謝します。

人は本当の愛を交わすのができる対象を持つ時に、幸福感を持て生きるのです。ところが、驚くべきことに、神の愛を身に着けても、神を仕え愛して生きる道を提供しました。これは、キリスト・イエスによるのでしょう。イエス・キリストを信じて罪の赦しを受けて義人になって、神の子どもになって、神を仕え愛するようになったのです
私たちは、神の愛を覚る深さに比例して、神のすべての充満されることによって満たされるようになります。**「すべての 聖徒と 共に， その 広さ， 長さ， 高さ，深さを 理解することができ，また 人知をはるかに 越えた キリスト の 愛を 知って， 神に 滿ちているもののすべてをもって， あなたがたが 滿たされるように， と 祈る」（エペソ人への手紙 3：18,19）**しました。 **「だれが， キリストの 愛からわたしたちを 離れさせるのか． 患難か， 苦惱か， 迫害か， 飢えか， 裸か， 危難か， 劍か． 「わたしたちはあなたのために 終日， 死に 定められており， ほふられる 羊のように 見られている 」と 書いてあるとおりである．しかし， わたしたちを 愛して 下さったかたによって， わたしたちは， これらすべての 事において 勝ち 得て 余りがある． わたしは 確信する． 死も 生も， 天使も 支配者も， 現在のものも 將來のものも， 力あるものも， 高いものも 深いものも， その 他どんな 被造物も， わたしたちの 主 キリスト・イエス における 神の 愛から，わたしたちを 引き 離すことはできないのである」（ロ―マ人への手紙 8：35～39）**としました
神の愛は、豊かな愛です。神の愛は、差別のない愛であり、壊すことができない愛です。神の愛は変わらない愛であり、永遠の愛です。このように、私たちを愛してくださる神を仕え愛して生きることによる感謝は区別された感謝であり、神霊な感謝です。神を仕え愛したので、持つようになる幸せは永遠に続きます

クリスチャンでなくても教養があり、心が細かい人は感謝の気持ちを感じて表現するのに惜しくしません。しかし、その感謝の理由は、日常的なものです。クリスチャンの感謝は、それ以上の感謝で次元が違います。「神霊な信仰をくださった神様に感謝します。 窮極的な希望をくださった神様に感謝します。神に仕え、愛して生きることを神に感謝します。」また、これらの区別されて神霊な感謝があなたの一生に日増しに豊かになるのを祝福します。このような感謝をささげる人々がますます加えられるために祈りと伝道に力を尽くすように願います。